

# 令和4年度 鳥取森林管理署主要取組事項

(7月末進捗状況)



令和4年8月

林野庁近畿中国森林管理局鳥取森林管理署

令和4年度、鳥取森林管理署は、平成30年12月に林野庁が策定した「国有林野の管理経営に関する基本計画」に掲げられた公益重視の管理経営、林業の成長産業化への貢献及び「国民の森林」としての管理経営を柱としつつ、民有林における森林経営管理制度を支援する取組を進めていきます。

3本の柱に関する取組の他、特に、重点的に取組むことを考えている「重点取組事項」の3点を紹介します。

なお、このたび、令和4年7月末時点での取組実績をとりまとめました。

※以下のページに赤字及び赤線で記載しています。

# <重点取組事項1>

## 民国連携によるシカ被害対策のさらなる強化

### ○主伐・再造林の促進に向けて民有林と国有林が連携した取組を実施

鳥取県東部ではシカの生息密度が高く、また、県東部に所在する国有林は多雪地域でシカの防護柵設置効果に懸念があるところであり、これらの対応が主伐・再造林の促進にあたり喫緊の課題となっている。

現時点では生息頭数の少ないとされる県中・西部においても、効果的な取組を早期に実施することが重要。シカ被害対策は、民国共通の重大な課題の一つであり、さらなる連携強化を進めることが大切である。

### 令和4年度予定

林道沿線でシカ捕獲罠を設置し、林道終点で新設工事を実施する事業者が朝の通勤時に罠を点検し、捕獲や異常を確認した場合、地元狩猟者等に連絡することで見回りの省略等効率化を図る。

また、植栽済み箇所におけるシカ防護柵の点検を実施する。

- ◆ 小舟山国有林(若桜町)坂の谷林道沿線 **実施中**
- ◆ 西鴨国有林(倉吉市)及び三徳谷国有林(三朝町)における既設防護柵の点検 **実施継続中**

### ★捕獲

- 国有林内で活動する土木事業者、地元猟友会及び森林管理署の連携で効果的な捕獲実施により捕獲頭数の増をめざす。この取組の関係者間の意見交換の場を設定し連携強化を図る。 **シカ捕獲現地検討会を実施**
- 県が実施するICTを活用した捕獲システム導入に係る民有林との情報交換を図る。

### ★効果的な防護柵の設置

- シカ防護柵の既設箇所における損壊状況等の把握・分析を行い、防除効果の向上を目指す。さらに民有林関係者への情報提供に努める。
- シカ防護柵製造者との連携を密にし、耐雪性、耐久性の高い防護柵など、効果的な防護柵設置をめざす。
- メンテナンスのしやすいシカ防護柵の開発につながるため、民有林関係者との情報交換に努める。

# <重点取組事項2>

## 花粉症対策推進と針広混交林化に向けた現地調査の継続

### ○少花粉スギ苗による実証試験(継続)

育成複層林施業地で、生分解性コンテナで養生した少花粉スギ苗を、昨秋、植栽しました。

実証試験としての植栽であり、成長過程において、様々なデータを収集します。

◆ 西鴨国有林(倉吉市) 1.15ha **実施中**

### ★育成複層林施業

森林の木を伐採する時、一度に全部伐らずに必要な分だけ抜き伐りし、その跡に若い木を育て、年齢や樹種の違う木で構成される森林へ誘導することです。

### ★少花粉スギ

雄花を全く着けないかごくわずかしか着けず、花粉飛散量の多い年でもほとんど花粉を出さない品種です。

### ○針広混交林(針葉樹と広葉樹が混じり合った森林)へ誘導するためスギ人工林の択伐後の林床調査実施

令和2年度、鏡ヶ成国有林721林班い小班の一部について、立木販売により林産物売買契約を締結しました。伐採方法は択伐で、昨秋から伐採作業が進められています。

この取組は、森林の天然力を活かして、針広混交林(針葉樹と広葉樹の入り交じった森林)にしていこうとするもので、伐採後に発生した広葉樹の育成方法が重要となります。

伐採後の地表処理及び照度管理などについて、専門家の意見を聞きつつ対応します。

◆ 鏡ヶ成国有林(江府町)721い林小班

◆ スギ 67年生 面積 11.91ha



西鴨国有林実証実験の現況



鏡ヶ成国有林721い林小班の現況

# <重点取組事項3> カシノナガキクイムシ被害対策

## ○国立公園大山でナラ枯れ被害木の処理と予防対策を実施

令和2年は、全国的にナラ枯れ被害が増大しました。鳥取県でも被害が増大し、大山一帯では夏にもかかわらず、あたたかも紅葉しているかのようにコナラ、ミズナラが枯れてしまいました。令和3年の被害は減少しましたが、当署では、大山地区の国有林において、昨年夏の被害木の処理として、伐倒くん蒸、立木くん蒸などの方法で駆除作業を実施します。また、被害を抑えるため、トラップで捕獲したり、立木の幹をビニールで覆うなどの予防措置を実施します。

さらに、被害木の有効活用の可能性を検討します。

### ★ナラ枯れ

カシノナガキクイムシによって伝播されるナラ菌がコナラやミズナラといったナラ類の樹体内に拡がり、水切れ症状を起こすことで、樹木が枯れる被害です。

### 令和4年度春の駆除及び予防措置

- ◆ 大山・榎ヶ原・西鴨の各国有林
- ◆ 立木くん蒸・伐倒くん蒸処理 116本 **実施済**
- ◆ 伐倒搬出、立木ビニールシート被覆 355本 **実施済**
- ◆ カシナガ捕獲トラップ設置 37本111基 **実施中**
- ◆ 立木ビニールシート被覆 324本 **実施中**



令和2年のナラ枯れ被害状況

大山横手道附近(R2.9.4撮影)  
(資料:鳥取森林管理署業務資料)

## ○マツクイムシ被害対策の実施

汐川前国有林(北栄町)では、マツクイムシ被害対策のため、毎年、樹幹注入作業を実施しています。今年度の事業実施は、現時点では未定です。

# I 公益重視の管理経営の一層の推進

## 治山事業及び林道災害復旧事業の推進

### ○被災山地の復旧整備の推進

過去に発生した台風や大雨による山地災害箇所について、地域の皆様の安心・安全の確保を図るため、被災箇所の復旧を進めます。

#### ◆ 令和4年度治山工事施工予定箇所

- 旧城山国有林(鳥取市):山腹工1ヶ所 **実行中**
- 大山国有林(二ノ沢)(大山町):溪間工1ヶ所 **実行中**
- 大山国有林(三ノ沢)(大山町):溪間工1ヶ所 **実行中**
- 本谷奥国有林(琴浦町):山腹工1ヶ所 **入札不調**



令和3年度床固工施工地  
(大山国有林:大山町)



令和3年度谷止工施工地  
(大流国有林:大山町)

### ○保安林機能の強化

保安林の持つ水土保持機能の維持、強化のため、本数調整伐を行います。

#### ◆ 令和4年度事業予定箇所

- 本谷奥国有林  
(琴浦町)  
面積: 10.51ha

**実行中**



令和3年度本数調整伐施工地  
(本谷奥国有林:琴浦町)

### ★大山の治山事業

大山は火山活動によりできたトロイデ式火山で、主に角閃安山岩からなっています。現在は解体期にあることから各所に大規模な崩壊地が見られ、出水期には多量の土砂礫が流れ出し、下流域での農業などの生活基盤に与える影響は計り知れないものがあります。

このため、大正6年(1917年)に大阪営林局の直轄事業として事業に着手したことに始まり、昭和9年(1934年)の室戸台風を契機として事業区域を拡大し、昭和13年(1938年)に治山事業所(大山町大川寺)を設置して事業を行っています。



現在の大山治山事業所  
(大山町)

### ○林道災害復旧の実施

令和3年7月の大雨による林道災害箇所を復旧して、通行可能にします。

#### ◆ 令和4年度林道工事施工予定箇所

- 山王谷(川奥)林道(鳥取市):25m **実行中**

## II 林業の成長産業化に向けた貢献

### 1 林業の成長産業化に向けた民有林との連携

#### ○にちなん中国山地林業アカデミーへの協力

我が国の林業を牽引し、地域から信頼される林業技術者の養成を目指す同アカデミーの活動を支援します。昨年度は、アカデミー生徒の技術力向上のため、西鴨国有林(倉吉市)の生産事業の伐採跡地にコンテナ苗植栽と現場視察を実施しました。

にちなん中国山地林業アカデミーは、平成31年4月、実践的な林業現場研修による技術と知恵、専門家の講義による最新かつ必須の林学・教養の知識をもった林業技術者の育成を目的に、日南町が設置した施設です。

今年度は、14名(林業専修科12名、林業研修科2名)の学生が同アカデミーに入学しています。



令和4年度アカデミー入学式  
(日南町)



令和3年度アカデミー学生の視察の模様  
(西鴨国有林:倉吉市)

# II 林業の成長産業化に向けた貢献

## 2 民有林と連携した森林整備等の推進

### ○森林共同施業団地での取組

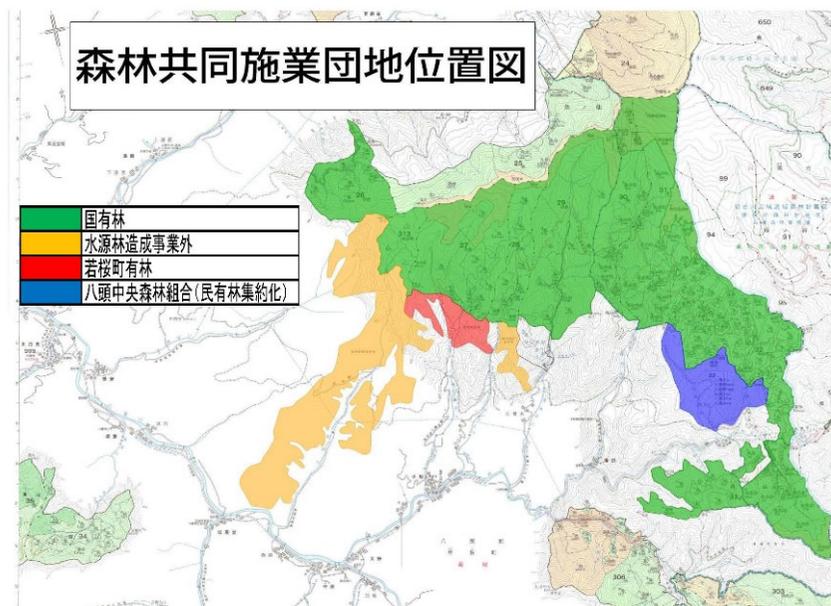
小舟山国有林(若桜町)と隣接民有林を対象区域として、森林共同施業団地を設定しており、民有林と国有林が連携して森林整備に取組み、森林の多面的機能の高度発揮を促すとともに、地域の森林・林業・木材産業の活性化を進めます。

令和4年度は、同団地内の国有林内にて間伐施業を実施する際に、協定者である八頭町森林組合と調整の上、民有林間伐施業地に接続して利用可能となる森林作業道を作設予定です。 **実行中**

小舟山地域森林共同施業団地は、独立行政法人森林総合研究所鳥取水源林整備事務所、若桜町、八頭中央森林組合及び鳥取森林管理署が小舟山地域における森林整備の推進に関し、作業路網の開設や間伐等の森林整備を適切かつ効率的に行い森林資源の循環利用の促進を図るため、「小舟山地域森林整備推進協定」を締結しています。

### 森林共同施業団地内訳

小舟山地域森林整備推進協定区域	面積 (ha)
国有林	1,097
水源林造成事業地	274
若桜町有林	32
八頭中央森林組合(民有林集約化)	76



小舟山地域森林共同施業団地  
(若桜町)



令和3年度小舟山地域森林共同施業団地での関係者協議(若桜町)

# II 林業の成長産業化に向けた貢献

## 2 民有林と連携した森林整備等の推進

### ○連絡調整会議の開催

当年度事業の実施状況や次年度事業予定等の情報交換や意見交換の場として、鳥取県関係部署及び水源林整備事務所と連絡調整会議を開催します。



鳥取県地域林政  
連絡会議を開催

令和4年度地域林政連絡会議の様子  
(鳥取森林管理署:鳥取市)

### ○現地検討会の開催

林業技術等の民有林への普及を図るため、毎年テーマを決めて現地検討会を開催しています。

今年度も、複層林造成、シカ被害対策等をテーマに、県等民有林関係者の参加を募って実施します。



シカ捕獲現地  
検討会を実施

令和4年度シカ捕獲現地検討会の様子  
(小舟山国有林:若桜町)

### ○路網の整備

今後の伐採木の搬出を容易にするとともに、民有林・国有林の連携の基礎となる林業専用道等の新設工事等を行います。

- ◆ 令和4年度林業専用道新設工事 **実行中**
  - 小舟山国有林(若桜町) 施工延長:500m  
(小舟山地域森林共同施業団地内)
- ◆ 令和4年度森林作業道新設工事 **実行中**
  - 沖ノ山国有林(智頭町) 施工延長:520m
- ◆ 令和4年度林道改良工事 **公告中**
  - 山王谷国有林(鳥取市)外 施工延長:315m



令和3年度林業専用道施工地  
(小舟山国有林:若桜町)

# II 林業の成長産業化に向けた貢献

## 3 林業の低コスト化の推進

### ○一貫作業システムの導入

伐採から造林までを同時に発注することにより、地拵の省略やコンテナ苗使用による植付の省力化で低コスト化を図ります。

#### ◆ 令和4年度一貫作業実施予定箇所 (主伐、誘導伐と植付の同時発注)

- 扇ノ仙国有林(鳥取市) 1.05ha 実行中
- 氷ノ仙国有林(若桜町) 0.56ha 実行中
- 坪谷奥国有林(三朝町) 3.24ha 取止 (主伐のみ再公告中)
- 黒谷国有林(倉吉市) 0.45ha 取止

「伐採と造林の一貫作業システム」の仕組み



資料：林野庁整備課作成。

### ○コンテナ苗の活用

コンテナ苗の採用により植付適期が広がり、伐採直後の植付が可能になります。

現在、2年生コンテナ苗の使用による苗木の低コスト化を目指した取組を行っています。

#### ◆ 令和4年度コンテナ苗使用箇所 左記の一貫作業実施予定箇所



コンテナ苗植付の様子



コンテナ苗

# II 林業の成長産業化に向けた貢献

## 4 林産物の安定的な供給

### ○丸太の供給

国有林材を請負事業により丸太(製品)にして、システム販売又は委託販売により、需用者に供給します。

令和4年度	材積(m <sup>3</sup> )	公募(公売)予定
委託販売数量	6,220	未定 <b>実施中</b>
システム販売数量	2,780	未定 <b>実施中</b>
計	9,000	

### ①委託販売の実施

あらかじめ契約を締結した原木市場を通じてセリ等により素材を販売します。



原木市場(米子市)

### ②システム販売の実施

合板用、バイオマス発電用の木材の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した工場等へ直送します。



山土場での集積  
(鍋割国有林:鳥取市)

### ○立木販売の実施

国有林材を立木の状態で販売します。  
搬出期間は3年程度あります。  
今年度の立木販売予定箇所は次のとおりです。

- 鷲峰山国有林(鳥取市)
- 池谷国有林(倉吉市)
- 山口奥国有林(倉吉市)
- 篠谷山国有林(江府町) **落札**
- 青木国有林(智頭町) **再公告予定**



青木国有林(智頭町)

### 令和4年度の木材販売予定数量 単位:m<sup>3</sup>

	材積	公募(公売)予定
丸太販売数量	9,000	未定 <b>実施中</b>
立木販売数量	7,551	未定 <b>実施中</b>
分収育林数量	3,927	未定 <b>再公告予定</b>

※随時、鳥取森林管理署HPに公告を掲載します。

# Ⅲ 国民の森林としての管理経営

## 1 森林環境教育の実施

## 2 レクリエーションの森を活用した地域振興

### ○森林環境教育の推進

持続可能な社会を創るための森林・林業の役割や木材利用の意義について、皆さんの理解と関心を高めてもらうため、森林教室、体験林業等を実施します。

令和3年度の自然観察会は、新型コロナウイルスの影響により、一般公募参加者がいなかったため、開催できませんでした。

#### ◇令和元年度の実施例

➤ 大山森林生態系保護地域自然観察会の開催(大山国有林:大山町)  
一般公募で応募いただいた方々を対象に、大山森林生態系保全管理協力員から説明を受けつつトレッキングを楽しみました。



令和元年度自然観察会  
(大山国有林:大山町)



令和元年度植樹体験  
(大山国有林:大山町)

➤ 大山並木松の植樹体験  
(大山国有林:大山町)  
小学生及び地元関係者が、2代目大山並木松の植樹を行いました。

### ○「日本美しい森 お薦め国有林」

扇ノ仙森林スポーツ林(扇ノ仙国有林:八頭町)は、林野庁が選ぶ「日本美しい森 お薦め国有林」全国93ヶ所の一つとして平成29年(2017年)に選定されました。  
ブナ林の中で登山、トレッキング、キャンプ及びバードウォッチングを楽しむことができます。



ツリークライミング  
(扇ノ仙国有林:八頭町)



扇ノ仙森林スポーツ林看板  
(扇ノ仙国有林:八頭町)

